

平成28年度第1回 島根支部健康づくり推進協議会の議事概要

開催日	平成28年9月7日(水)
場所	ホテル白鳥 2階 鶴の間
出席委員	青山委員、伊藤委員、沖田委員、高橋委員、鳥谷委員、中谷委員、村下委員(敬称略、五十音順)
議題	
<p>支部長あいさつ</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 議長選出【議題1】</li> <li>2. 各種事業の展開(その他保健事業)【議題2】</li> <li>3. 健診事業及び保健指導の実施状況【議題3】</li> <li>4. 島根支部における医療費の状況【議題4】</li> <li>5. その他【議題5】</li> </ol>	
議事概要 (主な意見等)	
<p><b>1. 【議題1】</b></p> <p>島根支部健康づくり推進協議会設置要綱に基づき、互選により学識経験者の中谷委員を議長として選出</p> <p><b>2. 各種事業の展開(その他保健事業)【議題2】</b></p> <p>資料1、参考資料1、参考資料2及び参考資料3により説明</p> <p>[意見等]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ヘルス・マネジメント認定制度において、3年連続認定で健康優良事業所表彰を行うとのことであるが、初年度の認定審査の後、3年目に改めて審査を行うのか。</li> </ul> <p><b>【回答】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・認定月から2年経過した時点において、認定事業所から「健康宣言チェックシート」に基づき再度現状報告をしていただき、認定基準をクリアしているかどうかを書面にて確認する。</li> </ul> <p>[意見等]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ヘルス・マネジメント認定制度の申請を行ったが、認定されなかった事業所はあるのか。</li> </ul> <p><b>【回答】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・現状では、認定審査を行った約8割程度の事業所が認定されるものと見込んでいるが、認</li> </ul>	

定制度は、基本的に試験制度のように落とすことが目的でなく、できる限り多くの事業所が認定となり、更なる健康づくりに取り組んでいただくことを目的としている。

なお、健康宣言チェックシートの項目に関して、例えば、受動喫煙対策など、認定に必要不可欠なものもあると考えており、認定基準の見直しについて検討していく余地はある。

[意見等]

- ・ 県内保健所と連携してメンタルヘルス出前講座を事業所へ実施しているが、メンタルヘルス以外の内容の出前講座について、支部の保健師で実施していないのか。

【回答】

- ・ 特定保健指導を最重要項目としながらも、事業所から要望があれば、対応できる範囲ではあるが、メンタルヘルスや喫煙、食事といった内容の集団での指導も行っている。

[意見等]

- ・ メンタルヘルス以外の出前講座について、各圏域の保健所においても、事業所へ赴き、医師や保健師で実施しているので、ご利用いただきたい。(行政代表委員)

[意見等]

- ・ 8月に開催された「たばこ対策セミナー」に参加し、内容は非常に良いものと感じたが、喫煙者が聞くとより良い内容であったと思った。今後は、参加対象者を喫煙者に特化したセミナーも検討していただきたい。

[意見等]

- ・ データヘルス計画の重症化予防対策事業において、糖代謝リスクが高い方への受診勧奨や保健指導を実施しているが、実施結果を追跡調査するような分析を行うのか。

【回答】

- ・ 事業のやりっ放しでなく、検証は必要であると考えているので、今後、しっかりとした検証を行っていききたい。

## **2. 健診事業及び保健指導の実施状況【議題3】**

資料3、資料4及び参考資料4により説明

[意見等]

- ・ 健診受診率が伸びてきている一方、特定保健指導の6か月後評価率が下がっているが、理由や課題の分析を行っているか。

【回答】

- ・ 一因として、評価率を計算する際の分母の基となる健診受診者数が増えていることがあるが、平成27年度においては、協会けんぽの業務システム刷新の影響もあり、評価件数自体も減ってしまった。評価率が下がってきている一番の原因は、特定保健指導に3～4回と複

数回該当された方について、面談を行っても特定保健指導を中断しやすい傾向にあるためと  
考えている。

[意見等]

- ・ 医療費を重要視すると、特定保健指導を中断された方について、その後の健康実態を分析  
することが非常に大切と考えるが、中断された方であっても、次回の健診受診の際は、数値  
が良くなっているといった分析を行うことは難しいのか。

【回答】

- ・ 本部が分析した平成26年度のデータを確認したところ、島根支部においては、特定保健  
指導の初回面談を実施した方について、特定保健指導を全く利用しない方と比べ、数値の改  
善率が全国平均より高いという結果が出ている。

[意見等]

- ・ 県内西部を中心に生活習慣病予防健診実施機関の拡充のため、機関に対し健診実施を依頼  
したとのことであるが、依頼した機関数と比べ、指定した機関数が非常に少ない。協力が得  
られない理由は、どのようなものであったか。

【回答】

- ・ 総合病院においては、医師やスタッフの不足を理由に断られた。診療所においては、胃カ  
メラの件数が多く実施できないことと、健診後の結果報告や費用請求の事務が対応できない  
というのが理由であった。

[意見等]

- ・ 健診の実施機関が増えない理由である医師不足については、島根県でも対応方法を検討し  
ていきたい。(行政代表委員)

[意見等]

- ・ 特定保健指導に3～4回と複数回該当された方について、面談を行っても特定保健指導を  
中断しやすい傾向にあるとのことであったが、中断しない対応策は行っているか。

【回答】

- ・ 従来、良い対応策がなかったが、昨年度から実施している健康経営の推進において、事業  
所全体として中断しないよう、事業主の意識改革に努めている。

[意見等]

- ・ 特定保健指導に複数回該当された方の支援文書について、「今回は2回目ですが…」とい  
った文面を付け加える等の工夫を行うと、成果に繋がるのではないかと思う。  
支部として、目に見える成果に繋がるような事業を行っていただきたい。

[意見等]

- ・ 特定保健指導に該当された方のうち、非常に数値の悪い方は、なかなかすぐに成果に結びつかないと思うが、複数年度で繰り返し行うことでも数値がよくなると思う。

### **3. 島根支部における医療費の状況【議題3】**

資料4により説明

[意見等]

- ・ 過去の医療費の分析資料において、10歳未満の医療費が高いことと、その他運輸業の医療費は年度が変わっても高いという傾向があったと思うが、その状況に変化はないか。

【回答】

- ・ 10歳未満及びその他運輸業の医療費について、高い傾向に変わりはない。  
その他運輸業への医療費対策は、データヘルス計画の各種事業で実施している。

[意見等]

- ・ 分析資料の中の「代謝のリスク保有率」は、空腹時血糖の検査で判断したものか、それとも、HbA1cの検査値も含んでいるのか。

【回答】

- ・ データの対象者は、生活習慣病予防健診の受診者となることから、基本的には、空腹時血糖となるが、健診前に食事を摂ったものは、HbA1cとなっている。

[意見等]

- ・ 分析資料の中において、島根支部は、「精神及び行動の障害」の医療費が全国より高いということであったが、事業所としては、就業年代がどのような状況か確認することが重要である。  
「精神及び行動の障害」の医療費は、年代別の状況を確認することはできるのか。

【回答】

- ・ 確認のうえ、今後お示しさせていただきたい。

### **4. その他【議題4】**

事務局からの案件等はなし

特記事項